

令和 3 年度	学校教育目標	教職員の信頼と協力を基調とし、一人一人の生徒に人権の精神を培い、知・徳・体の調和のとれた心豊かな生徒の育成を目指す
---------	--------	---

本年度の重点			年度末評価		
	重点目標 及び 指標	重点的取組	評価	○成果と◆次年度に向けた方向性・改善点	
子どもの「学び」に関する事	重点目標	特別な教育的支援の視点を重視したわかる授業、主体的に学びに向かう効果的な学習指導による確かな学力の向上	<p>○わかる授業づくりの5つのポイントを意識した授業、新しい学習評価に基づく指導と評価の一体化を推進するため、各学期に2回ほど教科主任会や教科部会等で研修を実施する。</p> <p>○GIGA端末を活用した、1人1人の理解状況や能力・適正に合わせた、個別最適な学びを推進するため、情報教育推進部会が授業支援、および授業提案を行う。</p> <p>○GIGAスマートスクール事業の取り組みを通して、教職員のICT活用スキルの向上を目指す。</p>	B	<p>○情報教育推進部会がICTサポーターと連携して授業支援、および授業提案を行うことで、GIGA端末を活用した、1人1人の理解状況や能力・適正に合わせた個別最適な学びを推進することができた。さらに、GIGAスマートスクール事業の取り組みを通して、教職員のICT活用スキルが向上した。このことは、教員のICT活用指導力調査結果からも明らかになった。</p> <p>◆次年度は、わかる授業づくりの5つのポイントを意識した授業、新しい学習評価に基づく指導と評価の一体化をより推進させるため、粘り強く校内研修に取り組んでいきたい。</p>
	指標	<p><学校生活アンケート></p> <p>◆「自分の考えを広げたり深めたりすることができた」について、肯定的な回答をした生徒の割合【80%以上】</p> <p>◆「タブレットを使った課題解決では、自分で考え自分から取り組んでいた」肯定的な回答の割合【80%以上】</p>			
子どもの「心の育ち」に関する事	重点目標	自他を大切にす優しい心もち、豊かな人間性を育てる教育の推進	<p>○考え、議論する道徳を推進し、よりよい生き方について考える指導を実践する。</p> <p>○生徒会主体の取組「心に響く挨拶～高見中に笑顔の輪を～」について、教職員も率先垂範する。</p> <p>○5月に生徒実態調査(学力実態【国数】・生活実態・セルフエスティーム【自尊心】)実施し、生徒の実態を把握する。また、経年比較を行う。</p> <p>○人権教育部が行う研修会を8月と1月に実施する。ここでは、全職員が生徒指導に関わるレポートを作成して交流を行う。</p>	B	<p>○5月に生徒実態調査実施し、全職員で調査結果を共有した。さらに、人権教育部が行う研修会を8月と1月に実施して、生徒の豊かな人間性を高めていくための手だてを共有して、高めていくことができた。「先生や友達はあなたの…」アンケートで、肯定的な回答の向上が見られたことも取り組みの成果である。</p> <p>◆「自分にはよいところがある」について、中間評価で向上が見られたが目標達成には至らなかった。生徒はよく勉学に取り組むが、成績に関する自己評価が低い。コロナ禍の制約の中での学校行事等を工夫し、生徒が達成感や充実感を味わうことができるようにしていく。</p>
	指標	<p><学校生活アンケート></p> <p>◆「自分にはよいところがある」について、肯定的な回答をした生徒の割合【70%以上】</p> <p>◆「先生や友達はあなたのよいところを認めてくれていると思う」について、肯定的な回答をした生徒の割合【80%以上】</p>			
子どもの「体力」に関する事	重点目標	健やかな体をつくる指導の充実、体力の向上	<p>○運動に対する関心意欲を高めるために、感染防止対策を徹底しながらクラスマッチ等のスポーツ行事の実施、部活動への参加を促進する。</p> <p>○保健体育科では、運動が苦手な生徒の自己肯定感やスポーツへの興味・関心の向上を図るために、GIGA端末を活用した学び合う学習を行う。</p> <p>○保健体育科の準備運動では、持久力を高めるランニングや筋力を高めるジャンプアップ運動を行う。また、単位時間あたり25分以上の運動時間を確保する。</p>	B	<p>○運動に対する関心意欲を高めるために、感染防止対策を徹底しながらクラスマッチ等のスポーツ行事を実施して、生徒に達成感や充実感を感じさせることができた。</p> <p>◆「学校の体育の授業以外に…」は目標達成に至らなかった。次年度は、保健体育科で引き続き運動が苦手な生徒の自己肯定感やスポーツへの興味・関心の向上を図るために、GIGA端末を活用した学び合う学習を通して、健やかな体をつくる指導の充実を図る。</p>
	指標	<p><学校生活アンケート></p> <p>◆「運動やスポーツが好き」について、肯定的な回答をした生徒の割合【80%】</p> <p>◆「学校の体育の授業以外に、運動を1週間で合計60分以上行っている」の肯定的な回答をした生徒の割合【85%以上】</p>			
長欠・不登校対策に関する事	重点目標	会いたい友達・先生、学びたい授業、明日も楽しみな高見中の実現	<p>○教職員が生徒1人1人に目を向け、明るさや元気を引き出すあいさつや声かけをする。また、日常的なふれあいを通して、いじめや心の悩みなどの早期発見、解消に努める。</p> <p>○1人1人が活躍できる当番活動・係活動の充実を図り、自他のよさや可能性を認め合う信頼関係を創る。</p> <p>○週に1度の生徒指導委員会、月例の特別支援ケース会議では、学年・学級の取組状況等を報告・確認する。同日に終礼を行い、全職員で状況と課題を確認する。</p>	B	<p>○コロナ対応が続く中、年間を通じて教職員が生徒一人一人に目を向け、明るさや元気を引き出す挨拶や声かけ、活躍できる当番活動・係活動の充実等を図ってきた。その結果、生徒アンケートにおいて、年度の後半ほど多くの質問項目で肯定的な割合が増加しており、「学校に行くのが楽しい」についても年度当初の目標値をほぼ達成できたとらえている。</p> <p>◆今後さらに肯定的な回答が増加するよう、次年度に向けて改善すべき点を検討し、具体的な方策を探っていく必要がある。</p>
	指標	<p><学校生活アンケート></p> <p>◆「学校に行くのが楽しい」についての肯定的な回答をした生徒の割合【85%以上】</p>			
業務改善に関する事	重点目標	ワークライフバランスの推進	<p>○実施可能な定時退校日を設定し、管理職と職員相互による声かけを行う。</p> <p>○職員会議では、資料を事前配布したり、ICTで資料配付したりして、短時間かつ設定した時間を守ることを徹底する。</p> <p>○管理職による、計画的な年休取得を推進する。</p> <p>○教務主任が週日程表を作成し、教職員が見通しを持って業務に取り組むことができるようにする。また、毎月の職員会議では、教頭が日常の業務改善について振り返るように呼びかける。</p>	C	<p>◆職員会議では資料を事前配布したり、ICTで資料配付したりして短時間かつ設定した時間を守ることを徹底したり、教務主任が週日程表を作成して教職員が見通しを持って業務に取り組むことができるようにしたが、目標達成には至らなかった。</p> <p>次年度も、引き続き感染症対策のために様々な制約の中で業務を進めていく必要があるが、多忙感の緩和を目指した取り組みを、全職員が共通理解していくことが必要である。</p>
	指標	<p>◆1か月の時間外勤務が45時間以下の職員の割合【80%】</p> <p><学校評価アンケート></p> <p>◆「よりよいワークライフバランスの実現を目指して、業務の手順を見直したり、工夫したりした」についての肯定的な回答をした教職員の割合【90%以上】</p>			

「学校運営協議会委員」等からの意見を記入	<p>子どもたちの挨拶がとても気持ち良くなっていると感じる。特に、登下校時に通学路で車や地域の人とすれ違うとき、どの子どもたちも立ち止まって道を譲り、挨拶をする姿には感動する。</p> <p>・本年度の生徒・保護者へのアンケート結果から、学校生活を通じて子どもたちの自尊心の高まりや先生方との良好な関係が築かれていることがうかがえる。</p> <p>・コロナ禍が続く中での部活動は先生方も大変だったと思う。同時に、子どもたちも活動が制限され多くのストレスがあったと思う。ただし、次年度もしばらくは安全・安心を考えた活動の工夫が必要だと感じている。</p> <p>・時期によっては通学路の側溝や階段などに落ち葉や泥がたまっていた状況も見られた。次年度可能であれば、地域清掃などの取組を検討してみてもどうか。</p>
----------------------	--